



履修制限について

- 本講義は
 - 文学部人間行動学科専門教育科目（地理学コース選択必修科目）です。
 - 中学校社会科、高等学校地理歴史科の教科に関する必修科目です。
 - 全学向けの共通科目ではありません。
- 専門科目用教室のキャパシティから、上記に沿った受講者に履修を制限しています。

2

講義ホームページ

- 政治地理のページ
 - <http://polgeog.jp/>
- 地理学概論 I（講義シラバス）
 - <http://polgeog.jp/archives/1818>

3

科目の主題

- 現代社会の諸問題に対し地理学的に接近する一つの視角として「政治」という側面について考える。
- 政治事象を扱う地理学の分野「政治地理学」は、諸外国とは異なり、日本では盛んではなく、研究者も限られている。
- そうした政治地理学への入門として、特に政治地理学の歴史と理論について講述。

4

到達目標

1. 近代政治地理学の展開を批判的に振り返りながら、国際社会の変動を理解する視座として政治地理学の有効性を理解します。
2. マルチ・スケールの観点から、空間・場所・領域に関する政治地理学的理論を理解します。
3. コンテキスト・スケール・言説という概念を用い、グローバル／ローカルな政治事象の分析方法を把握します。
4. 以上の理論的・概念的理解をもとに、政治地理学的な事例研究へのアプローチを習得します。

5

授業計画

- 第1部 政治地理学がたどってきた道（3コマ）
- 第2部 空間・場所・領域（4コマ）
- 第3部 コンテキスト／スケール／言説の政治（4コマ）
- 第4部 理論に根差した事例研究へ（2コマ）
- 各日の講義内容の（変更箇所を含む）詳細は講義HP参照。第1部から3部の最後の1コマは討論の時間になります。

6

評価方法（詳細はシラバス）

1. 出席
出席数が2/3（10回）以上の受講生を評価対象とします。欠席の場合はその他の評価得点から減点する措置をとりませんが、病欠などの場合は診断書のコピー等の提出があれば減点しません。
2. 週リーディングレポート（評価配分50%）
教科書ではなくホームページで示される各週の課題を考察し、その回答（あるいは討論時に発言したい内容）を当該講義時に持参し、講義後に提出してください。書式はA4判を縦に用い、横書きで1頁以内（800字程度、極端に少ない場合は減点します）。
3. 期末レポート／討論（ディベーター）（評価配分50%）
 1. 執筆要領に従って、テキストの特定の章（複数でも構いません）について論評し、そこで言及された理論的視角を用いて、その章で「言及されていない事例で理論の妥当性を考察してください」。
 2. 受講生の中から、6名程度の希望者を募り、第1部から第3部の最終週に討論の時間を設けます。選ばれた者（ディベーター）は2名ずつに分かれ各週のテーマに関して指定された立場から主張します（期末レポート免除）。